

請 願 文 書 表 (令和6年6月5日定例会提出)

請願第9号

七条地区への新クリーンセンター（ごみ焼却場）建設計画に反対する請願書（市民環境委員会付託）

令和6年5月13日受理

請 願 者 ●●●●●●●●●●
七条東オリエント自治会
会長 池 口 高 史
紹介議員 中 西 吉日出

要旨

計画の経緯と現状の問題点

当初の計画では、大和郡山市、生駒市、平群町、斑鳩町、そして奈良市の5市町広域化構想での建設であり、人口重心等を考慮した結果、七条町が候補地となったというもので、建設地として決定したものではないと説明会でありました。その後、奈良市以外は広域化構想から離脱し、奈良市単独での建設計画になったにもかかわらず、七条地区での建設を理由もなく押し進めようとしています。

計画は破談になり、人口重心地ではなくなっているのに変えようとしていません。候補地の検討が怠慢で七条地区の住民たちは全く納得できるものではありません。

私たち七条東オリエント自治会(以下「自治会」と称する)の住民は、奈良市が進める七条地区への新クリーンセンター建設計画について、重大な懸念と反対の意を表明します。

以下、その理由と中止を求める根拠を述べます。

理由

① 文化的、歴史的価値の損失

奈良市には、歴史的遺産で文化的遺産、観光資源の一つである平城京があります。北は大極殿、朱雀門があり、そこから南に朱雀大路が通り、玄関口である羅城門がありました。その玄関口の羅城門跡の北側に建設する計画です。さらに西側には、薬師寺・唐招提寺といった世界遺産とも近接しており、その歴史的、文化的価値は計り知れません。この地域の景観や文化遺産を損なうような計画は、後世に対する責任を果たしているとは言えません。奈良市民、奈良県人、また奈良出身の人たちはこのようなことを望んでいません。観光バスとごみ収集車が競い合う光景なんて誰も望んでいません。

② 重複する施設の問題

近隣には既に大和郡山市の清掃センターが稼働しており、新たなクリーンセンターを建設することは、七条地区に二重の負担を強いるものです。このような状況は地元住民にとって公平ではなく、受け入れ難いです。

③ 公害調停条項の違反

現計画地には奈良県立養護学校や県立朱雀高校、西の京病院、子どもセンター、保育園などが隣接しております。公害調停条項第2条に「移転場所は300メートル以内に学校、

幼稚園、保育園及び病院がない場所から適地を選定する」と定められていますが、この計画は明らかにこれに違反しています。概説書に記載されている回避策や、教育機関の移転などは、不必要な財政負担を増やすものであり、納税者にとって不利益です。

④ 地域住民の健康と生活環境への影響

七条地区は、病院、学校、住宅地が密集しており、特に子供や高齢者など、健康に影響を受けやすい層が多く居住しています。焼却場からの排気ガスや悪臭がこれらの住民の健康を脅かすことは避けられません。

⑤ 住民の意思の尊重

2021年6月の住民説明会では、地区内への建設候補地の指定について説明がありましたが、その後のプロセスにおいて住民の意見が十分に反映されているとは考えられません。自治会を含む地域住民からは、建設計画に対する明確な反対の声が上がっています。

⑥ 洪水リスクと環境影響

建設予定地は奈良市ハザードマップで0.5メートルから3メートル、5メートルの洪水浸水想定地域に指定されています。計画では建設敷地に盛土をして洪水リスクを回避するとされていますが、これには多額の費用がかかるだけでなく、周辺低地への影響が懸念されます。

⑦ 大規模自然災害のリスク

理想を掲げた現代技術による施設も、大地震などの自然災害により有害物質が漏れ出すリスクがあります。大和郡山市の施設と併せ、地域にとって受け入れ難いリスクを増加させます。

⑧ リニア中央新幹線との計画的矛盾

リニア中央新幹線の奈良県内候補地（5パターン）のうち、八条・大安寺地区とJR郡山駅・近鉄郡山駅地区が想定されており、リニアの直線コースからも有力候補地になっており、その近辺にごみ焼却場を持ってくるという計画が、まさに「計画性のない奈良市」と他府県から笑われイメージが悪化します。

⑨ 交通渋滞とその影響の悪化

七条地区では既に平日の通勤時間帯、また休日には観光バス、マイカーによる交通渋滞が頻繁に発生しており、その影響で住民の生活に大きな支障を来しています。新クリーンセンターの建設により、建設資材の運搬トラックや作業員の車両が地区内を通行することが増加し、現在の交通状況をさらに悪化させることが予想されます。特に、建設期間中の朝夕のピーク時には、重大な交通渋滞が発生し、緊急車両の通行障害や、通学する子供たちの安全性にも悪影響を及ぼす可能性が高いです。このような状況は、地域住民の日常生活や地域経済にも慢性的な負の影響を与えます。

以上の理由から、奈良市に対して、七条地区における新クリーンセンター建設計画の撤回と、より適切な場所の選定を求めます。私たちの住む地域の歴史的資産と安全と健康を守るため、真摯に検討をお願い申し上げます。